

公共施設の建て替えについて

(質問) 子育て支援センター「りんりん」の建て替えについて、新しい施設の概要と今後の予定を問う。

(答弁) 子育て支援センター「りんりん」については、令和2年度に基本設計、令和3年度に実施設計が行われる予定であり、今後一体的に整備される地区市民センターや公民館の担当部

署とも協議し、保育士や利用者の声を踏まえながら協議・検討していく。

「りんりん」と公民館、地区市民センター、公園などの公共施設と一体的に整備することにより、多様な人たちが、地域ぐるみで子どもを育む子育て環境を形成することになり、交流促進や駐車場の相互利用などによる相乗効果も期待できると考えている。

計画では、令和6年4月からの供用開始を予定している。

災害について

(質問) 本市の納税額は県内3位。三重県の建設事業補助費の8年間の平均は約28億2,000万円で三重県事務所10カ所中9位。松阪市の補助費は約40億4,000万円で3位。事業補助費の差は、約12億2,000万円。非常に残念な結果である。本市は補助費を増額するために、これまでどのように三重県に働き掛けや工夫をしてき

たのか。

(答弁) 財政的な支援や制度改善などに効果的につながるよう、例年、新年度予算編成前の7月頃に三重県を訪問し、直接、要望・提言の内容を伝えている。三重県が管理する海岸堤防および河川や道路の整備に関しても、これまで要望・提言事項として強く働き掛けてきた。今後、さらに積極的に三重県に対して活動を行っていく。

その他の質問 ○地元産業振興 ○公共施設マネジメント ○業務簡素化

鈴鹿市におけるRPA・AI等の導入について

(質問) 鈴鹿市でも、今後RPAやAIの導入を進めていく必要性があると考えているが、これまでに庁内でICTリテラシーの向上などを目的として行った取り組みはあるか。また、三重県内の他市の導入状況や、国や県の導入に対する支援体制はどのようになっているか。さらに、今後の導入に向けた具体的なフロー

や実証実験などの取り組み、それに伴う業務の棚卸しの方策などについて伺う。

(答弁) RPAの導入に向けて昨年、事業者と共に職員向けデモンストレーションを実施した。国や県でも支援の具体的方策が出ており、他市も導入を進めている中、本市も国が進める業務プロセスや業務システムの標準化に向け、取り組みを進めていく。具体的には、税関係の業務、福祉関係の業務、内部管理の業務の3つをピックアップし、令和2年度の早期に委託事業者の公募を実施予定である。

道徳観について

(質問) ①学習指導要領の改訂により、年間35時間「特別の教科 道徳」が行われているが、どのような取り組みが行われているか。また、領土教育について、その歴史も含め、小中学校でどのような教育が行われているか。

(答弁) 児童「特別の教科 道徳」では、答えが一つでない道徳的な課題を自分自身の問題

として捉え、考える道徳および議論する道徳の授業を行っている。小学校低学年では19項目、中学年では20項目、高学年、中学校では22項目を学習すべき内容項目と定めている。また、領土に関する教育では、小中学校を通して系統的に社会科の教育を行うことにより広い視野に立ち、平和で民主的な国家および社会の形成者としての資質・能力の育成を目指していきたいと考えている。

その他の質問 ○ドローンの活用 ○多文化共生